





お子様のコミュニケーション能力を育てる

# CLAFA

Children's Leadership And Facilitation Academy

【クラファ】

## みんな違っていい。みんな違うのが当たり前。

まわりの人と違う意見を持っていたり、みんなと違う事をやってみる。それがどんなに素敵で立派な事でも、評価されないことがあります。

私の息子は現在小学1年生です。

「みんなと一緒に安心」という日本人独特の価値観が息子に根付いてしまう前に、自分の意見を言ったり、自分の考えでやりたい事をできる力を伸ばしてあげたいと考えました。

いくら世界で活躍できるだけの学力があっても、自分で考えた事を話したり、それについて議論したりできなければ活躍はできません。

そして、学歴で人物を評価する時代はすでに終わっています。

自分がどれだけパフォーマンスできるかが重要なのです。

自分で生きる力をつけた人が人生を豊かに楽しく実りあるものにできるのです。机上の学習だけでは生きてはゆけません。

息子には、人生を遅くてもおもしろいものにしてもらいたく、私が指導できる事を考えた結果、このスクールを始めるに至りました。

一人でも多くの子供の人生が、健全で実りある人生になりますようにと願いを込めて、スクールを運営して参りたいと考えています。

【クラファ】オフィス 代表：安本 志帆



## 【クラファで指導していく主なテーマ】



### ディベートゲームをする。



### スピーチをする。



### 脚本の無いドラマを演じる。



### 子どもだけで計画し、行動する。

(計画が外活動になった場合は、夏休み、冬休み、春休み中に行います)

## 【お子様の成長効果】

ディベートとは。

あるテーマにおいて、A意見派、B意見派に別れ、考えを発表します。ディベートのポイントは、感情ではなく事実が大事だということです。自分はA意見派であっても、B意見派に選ばれることがあります。

しかし、B意見派の立場に立って、考えをまとめることにより自分と違う意見の人のことを受け入れる、想像する力が養われます。その結果、相手の意見に耳をかたむけ、話しの内容を理解しようと勤めます。相手に自分の考えを一方向的に押しつけることが無くなり、まわりの人の意見を、うまく取り入れることができます。

自分の意見を短くまとめられるようになります。

積極的に自分の意見を言えるようになります。

自分の意見に自信が持てるようになります。

アドリブの劇遊びで、言葉と言葉のやりとりや

頭の中のストーリーを言葉におとすトレーニングをすることにより、対話力が身につきます。

併せて、言葉以外の伝達能力の重要性を学びます。

子ども達がやりたいことを、ゼロから計画し実行します。

リーダーシップを発揮するようになります。

自分の考えている設計図を、行動に変換する力がつきます。

異なる年齢の子ども達との活動により、それぞれの立場の人を思いやる気持ちが育ちます。